

イタリア語の発音

JA - A1 - <https://italianoconmartin.com/ja/bunpo/a1/イタリア語の発音.html>

ホーム / 文法 / A1 / イタリア語の発音

文法A1

イタリア語はほとんどいつも書いてあるとおりに読みます。いくつかのルールを覚えれば、どんな単語も声に出して読めるようになります。このレッスンでは、聞きながら学びます。5つの母音、CとG、特別な音、二重子音（ca sa と cassa、どちら？）、アクセント、日本語話者がつまづきやすいポイント、そして練習用の早口言葉が4つあります。

このレッスンの使い方

▶ を押すと単語が聞けます。を押すとゆっくり聞けます。リスニング練習では、ページがランダムに単語を選びます。よく聞いて、聞こえた単語を選びましょう。録音する で自分の声を録音して、お手本と比べることができます。録音はブラウザの中だけに残り、どこにも送信されません。

イタリア語の秘密：ひらがなと同じように、それぞれの文字は（ほぼ）いつも同じ音です。読まない文字はひとつだけ、h です。このページのルールを覚えれば、初めて見る単語も読めるようになります。

5つの母音：いつもはっきり、最後まで

うれしいことに、イタリア語の母音は日本語と同じ「あ・い・う・え・お」の5つです。ただし u だけは唇を前に丸く突き出します。顔を見てください。口の形で半分は決まります。

病院で「あーんしてください」と言われたときのように、口を大きく開けます。

amica · casa · banana

口を半分開けて、少し横に広げます。「え？なに？」

bene · sera · mele

写真の笑顔のように、唇を横に引きまします。

vino · libri · bici

驚いたときの「おっ！」のように、唇を丸くします。

sole · oro · molto

フクロウのように唇を前に突き出して「ウー」。日本語の「う」より唇を丸くします。

uva · luna · tu

最後の母音もちゃんと聞こえる

イタリア語では、単語の最後の母音を弱くしたり消したりしません。pizza、Roma、gelato、notte。最後の母音が、ひとつか複数か（la pizza、le pizze）、男性か女性かを教えてくれることもよくあります。

pizza · pasta · Roma · gelato · notte

おまけ：E と O には2つの声がある

e と o には、口を広く開ける音と狭く閉じる音があります。有名な例は la pèsca（桃）と la péscà（釣り）。書き方は同じです。でも安心してください。ミラノとローマとナポリでは、イタリア人同士でも意見が合いません。どちらで言っても通じます。

la pèsca : 桃

la pesca : 釣り

CとG : かたい音? やわらかい音?

c と g には2つの音があります。決めるのは次の文字です。a、o、uの前ではかたい音、e と iの前ではやわらかい音になります。

つづり	音	例
ca · co · cu	かたい音 : 「カ · コ · ク」の k	casa · cosa · cuore
che · chi	かたい音 : 「カ · コ · ク」の k	perché · chiave
ce · ci	やわらかい音 : 「チャ · チェ · チ」の ch	cena · dieci
cia · cio · ciu	やわらかい音 : 「チャ · チェ · チ」の ch	ciao · cioccolato · ciuffo
ga · go · gu	かたい音 : 「ガ · ゴ · グ」の g	gatto · gonna · gusto
ghe · ghi	かたい音 : 「ガ · ゴ · グ」の g	spaghetti · ghiaccio
ge · gi	やわらかい音 : 「ジャ · ジェ · ジ」の j	gelato · girasole
gia · gio · giu	やわらかい音 : 「ジャ · ジェ · ジ」の j	giallo · giorno · giugno

H は壁 : c と e · i のあいだに h が入ると、やわらかくなりません。だから chiave (キアーヴェ) や spaghetti (スパゲッティ) はかたい音のままです。

I は聞こえない橋 : ciao、giallo、giorno の i は、子音をやわらかくするためだけにあります。「チ · アオ」ではなく、ひとつの音節で「チャオ」です。

特別な音

覚えておきたい7つの文字の組み合わせです。単語を聞いて、声に出してまねしましょう。

gnocchi の gn

「ニャ · ニョ」のひとつの音です。gnocchi は「ニョッキ」、bagno は「バーニョ」。g は読みません。

gnocchi · bagno · lasagne · Spagna

aglio の gli

やわらかい l で、「リャ · リョ」に近い音です。舌の真ん中を上あごにぴったりつけます。aglio は「アッリョ」、figlio は「フィッリョ」。g は読みません。

aglio · figlio · famiglia · moglie

sciarpa の sc

e と i の前では「シ · シェ」の音です。scena は「シェーナ」、pesce は「ペーシェ」。a、o、u の前と h がつくときは「スク」 : scuola (スクオーラ)、schiena (スキエーナ)。

sciarpa · pesce · scena · scuola · schiena

pizza と zebra の z

2つの音があります。pizza、grazie は「ツ」の音 (ピッツァ、グラーツィエ)、zebra、zero は「ヅ」の音です。間違えても誰も気づきません。地方によって変わるからです。

pizza · grazie · zebra · zero

sole と rosa の s

単語の始めでは「サ・ス・セ・ソ」の s です。si（はい）は「シ」ではなく、舌を歯に近づけた「スイ」。母音には含まれると、北イタリアでは「ザ・ゾ」のように響きます。rosa は「ローザ」。

sole · sale · rosa · casa

rana の r

日本語の「ら行」とよく似ています！舌先で上の歯の裏を一回はじきます（caro）。rr や単語の始めの r は、舌先を何回もふるわせる「巻き舌」です（carro、Roma）。

rana · Roma · caro · carro

h：はずかしがりやの文字

まったく音がありません。ho、hai、ha、hanno
は「オ」「アイ」「ア」「アンノ」と読みます。書いた単語を区別したり、c と g をかたくしたりするためだけにあります。

ho · hai · ha · hanno

二重子音：ネコのジャンプ

二重子音は、ただ2回書くだけではありません。長く発音します。ジャンプする前のネコを思い浮かべてください。一瞬止まって、準備して……ジャンプ！cassa では s の所で声が一瞬止まりますが、casa では止まりません。

やり方：実は日本語にはもうあります！小さい「っ」と「ん」です。「きて」と「きって」の違いが、casa（カーサ）と cassa（カッサ）の違いです。tutto は「トゥット」、pappa は「パッパ」、nonno は「ノンノ」、palla は「パッラ」。カタカナで「ッ」や「ン」が入る所が、イタリア語の二重子音です。

1文字ですべてが変わる

casa – 家

cassa – レジ

nono – 9番目

nonno – おじいさん

pala – シャベル

palla – ボール

sete – のどの渇き

sette – 7

caro – 高い（値段）

carro – 荷車

capello – 髪の毛1本

cappello – 帽子

pena – かわいそう

penna – ペン

sono – 私は～です

sonno – 眠気

新年のあいさつに注意：大みそかには Buon anno!（あけましておめでとう）と、n を2つにして「ブオナンノ」と言います。n がひとつだけだと……食事中には口にしない体の部分に「おめでとう

」ということになります。イタリア人は笑ってくれますが、「ン」はしっかり伸ばしましょう！

アクセント：声が強くなる所

日本語は音の高さで区別しますが、イタリア語は強さと少しの長さで区別します。どの単語にも強い音節がひとつあり、たいていは後ろから2番目です。最後の母音にアクセントがあるときだけ、記号を書きます。

後ろから2番目の音節：ほとんどの単語

casa · amico · ragazza · parlare

最後の音節：アクセント記号を書く

città · caffè · perché · papà

後ろから3番目の音節：数は少ないが、よく使う単語

telefono · macchina · sabato · zucchero

アクセントひとつで、別の単語

文字は同じでもアクセントが違います。l'ancora は船のいかり、ancóra は「まだ・もう一度」という意味です。それから、お父さん (papà) を「il papa」と呼ばないように。それはバチカンに住むローマ教皇です！

l'ancora：いかり

ancóra：もう一度、もっと

il papà：お父さん

チャンピオン：càpito（たまたまある場所に行き着く）、capito（わかった：hai capito?）、capitò（起こった）。文字は同じで、3つの別の単語です。

日本語話者のつまずきポイント

言語によって、つまずく場所は違います。日本語話者のアクセントが出やすい6つのくせと、その直し方を紹介します。

うれしいニュース：二重子音は、多くの学習者がいちばん苦勞する所ですが、「っ」と「ん」がある日本語話者には簡単です。5つの母音も、ら行の r も、もう持っています。

r と l を区別する

r は「ら行」のように舌先で一回はじきます。l は舌先を上歯の裏にぴったりつけたまま、舌の横から声を出します。「ン」の舌の位置のまま「ル」と言う感じです。rana（カエル）と lana（毛糸）、mare（海）と male（痛い）は別の単語です。

rana · lana · mare · male

子音のあとに母音を入れない

sport は「スポーツ」ではなく、strada は「ストラダ」ではありません。「ス」の「ウ」を言わずに、s から t へすぐ進みます。

sport · strada · grazie

si、tu、di、fu に注意

sì は「シ」ではなく「スイ」、tutto は「ツット」ではなく「トゥット」、dire は「ジレ」ではなく「ディーレ」。f は上の歯で下唇に軽くふれます：fumo。

sì · tutto · dire · fumo

v と b は別の音

b は両方の唇を閉じます。v

は上の歯で下唇を軽くかんで、声を出します。vino（ワイン）は「ビーノ」ではありません。bacca（木の实）と vacca（牛）も別の単語です。

vino · bacca · vacca

母音を長くしない

カタカナでは「ローマ」「ミラノ」「ジェラート」と伸ばしますが、イタリア語には長い母音と短い母音の区別がありません。強い音節が少し長くなるだけです。長さが大事なのは、母音ではなく子音です。

Roma · Milano · gelato

h は読まない

hotel は「ホテル」ではなく「オテル」、ho fame（おなかがすいた）は「オ・ファーマ」です。

hotel · ho fame · hanno ragione

早口言葉：口のトレーニング

Gli scioglilingua（舌をほどくもの）は、「生麦生米生卵」のように、わざとつまずくように作られた文です。イタリアでは子どもに言わせて、みんなで笑います。聞いて、ゆっくりまねして、だんだん速くしましょう。録音して比べてみましょう！

「33人のトレント人がトレントに入った、33人みんなでトコトコと。」r と二重の t の練習：tr の連続です。

「アポロンの息子アベレスは、鶏の皮でボールを作った。」二重子音（palla、pelle、pollo）と gli の音の練習です。

「コックは台所で料理をして、いところが料理をしないので、女のコックは横になって黙っていると言う。」かたい c とやわらかい c の練習：cuoco、cuoce、cucina、giace。

「晴れている、晴れるだろう、晴れていなくても、晴れてくるだろう。」s と r の練習：sereno、rasserenerà。

チャレンジ：ひとつ目を3回続けて、速く、まちがえずに言えますか？ほとんどのイタリア人は言えません。

マンツーマンのイタリア語レッスン



Martin

科学・技術・語源

[WhatsAppで予約](#)



Licia

芸術・忍耐・文法

[WhatsAppで予約](#)

italianoconmartin.com - 無料の読解・文法・語彙